

永昌宿



- 永昌宿
 - 永昌代官所跡
 - 飛び石
 - 眼鏡橋
 - 岡口堪忍場跡
 - 千人塚
 - 大歳神社
 - 正久寺茶屋跡
 - 西山家武家屋敷
 - 天初院
 - 桃木茶屋跡
 - 隆信さんの腰掛石
 - 相剣寺
- 湯江宿
 - 湯江宿上使屋跡



多良海道とは

長崎街道多良往還・多良道・諫早街道などとも呼ばれ、永昌宿（長崎県諫早市）、湯江宿（佐賀県嬉野市）間の総距離十二里八町（約四十八km）のルートを指す。

途中、湯江追分からは山あいのルートと有明海沿いのルートの二手に分かれるが多良宿で合流する。有明海沿いのルートを「竹崎街道」と呼ぶ。

26 子安観音



海道脇に小さなお堂があり、子安観音が祀られている。昔は安産の観音様として、近郷の妊婦たちが安産祈願に訪れ、賑わっていた。

25 桃木茶屋跡



茶屋周辺では桃の木がまったく育たなかったが、この茶屋だけには立派な桃の木が成長し、美しい花を咲かせていたことから、桃木茶屋と呼ばれるようになったといわれる。

24 小江神社



天正5（1577）年に創建とされているが、本社と神官の家屋が台風で吹き倒された折、由緒録が紛失し詳細は不明である。

23 天初院



江戸時代、天初院がある深海村は長崎の深堀家の飛地。当地に隠居していた深堀純賢の庇護を受け、元和2（1616）年に曹洞宗の寺院として開山。本堂裏手には純賢夫妻の墓、殉死墓が祀られている。また、境内には明治時代活躍した荒川一々の句碑がある。

22 さかなか坂



坂の名称は「急坂の半ば」から付けられたと言われる。海道は側溝が整備され、舗装道となっているが、道幅や傾斜は当時のままである。坂近くの広場にはかつて天神があり、駕籠立場であった。

21 東長田村・深海村境石



東長田村と深海村の境界として深海川に設置してあったが、昭和32（1957）年の諫早大水害により流出、昭和50（1975）年頃、川の渡津石の際に発見され碑石に利用された。平成25年に蟹蔵公民館脇に移設。高さ約1.4m、一辺約25〜27cm。年代は不明。

20 ちぢゃのん坂



坂の名称の由来は不明。江戸時代の多良海道の面影が良く残っており、一部舗装の後が残っている。坂を下ると東長田村と深海村との境であった、深海川に出る。

19 西山家武家屋敷



西山家は五代傳左衛門が小江村・藤田尾村・大田尾村・白浜村・東長田村の五ヶ村の郷目付を務めた。屋敷は安政末年、不審火により焼失。文久2（1862）年に新築された。江戸時代の武家屋敷としては市内で唯一の建物。

18 高天神社



祭神は高皇産靈神・天照大神。慶長年間（1596〜1614）、高皇産靈神の神号を記すご神鏡を大戸尾の大石の上に石祠を建立、寛文5（1665）年に東長田村の産土神として尾首に遷座し、土地安全と五穀豊穣守護を祈願した。二ノ島居の左側には、古墳時代の横穴式石室の天井・奥壁・両腹石が残る尾首古墳がある。

17 正久寺茶屋跡



街道を行き来する旅人たちが、休憩のために立ち寄った場所。「旧諫早街道茶店跡」と文字が刻まれた石碑が建っている。

16 一里塚



一里塚は1里＝36町（約3.927km）ごとに海道の両脇或いは片側に築かれていた。一辺約2m四方、高さ約4mあり、多良海道で唯一現存している一里塚。地元では三本松の一里塚と呼んでいる。岡口堪忍場近くの一里塚より1里（約4km）。

15 大歳神社



祭神は大年神。遙か遠くに雲仙岳を望み、有明海の眺望も良かったことから、佐賀藩主や諫早領主が駕籠立場として立ち寄っていた場所。境内には南北朝時代の年号が刻まれた「名石」や「磨崖仏三十三所観音」などの史跡がある。また、「六段の調」の発祥地としても知られる。

14 天満神社



祭神は宇賀魂神・天照大神。天文年間（1532〜54）に西郷氏が創建したと言われる。江戸時代は西長田村の産土神。明治になり、四面宮より筑紫国魂神社、西長田神社、天満神社と社名が改称された。農業守護・病氣平癒・家内安全・災難・厄除けの神徳があると崇敬されている。

13 千人塚



土園川の關の弘法大師堂に「土園神池 千人塚」と刻まれた自然石がある。これは昭和初期、千人塚が祀られている付近で怪我人や病人が絶えなかったため、その災厄を鎮めるために昭和11（1936）年に祀られたものである。

12 光江津（諫早津）



本明川河口にあった光江津は、佐賀・久留米・柳川へ往來する有明海航路の港のひとつで、京都・大阪そして江戸へ輸出入の「生糸」などを運ぶ東回りの重要な積出港だった。船は有明海の干満差を利用し、出入は1日2便あった。

11 岡口堪忍場跡



岡口は諫早城内と城外の境付近に位置している。堪忍場とは佐賀藩主や諫早領主など要人をお迎え・お見送りした場所。ここには三角形の笠石を乗せた一対の石柱が堪忍場の出入口を示し、柱が汚れない様に堪忍石と呼ばれる石が設置してあった。

10 安勝寺



諫早家初代龍造寺家晴公から諫早領内浄土真宗の總道場の辞令を頂いた名刹。諫早に本陣が無かったことから、その役割も果たし、幕府巡見使やシーボルトなどの要人が休泊した。境内の「鐘樓」は江戸中期から昭和19（1944）年の金属供出まで諫早の町に時を告げていた。

9 慶厳寺



浄土宗の寺院で、慶長10（1605）年、泉野（本諫早駅裏）より移転創建された。山門は莊嚴寺（諫早神社境内にあって現在廃寺）より移設。境内には南北朝時代の年号が刻まれた「名石」や「磨崖仏三十三所観音」などの史跡がある。また、諫早家の祈願所でもあった。境内のクスノキは県指定文化財に指定されている。

8 諫早市美術・歴史館



美術館と博物館機能を併せ持つ、諫早市初の本格的なミュージアム。諫早市にゆかりのある美術・歴史・民俗資料などをわかりやすく展示し、郷土「諫早」の愛着を育む場となっている。

7 眼鏡橋



長さ49.25m、幅5mの石造り2連アーチ橋。天保10（1839）年に諫早家第12代茂吉公や領民が「永久不壊」の願いを込めて架橋。昭和32（1957）年の諫早大水害後、昭和36（1961）年に諫早公園内に移築復元された。石橋としては日本で最初に国指定重要文化財に指定された。

6 諫早公園（高城址）



戦国時代は西郷氏、江戸時代初期は諫早氏の本城があった。現在は諫早市城山暖地性樹叢として国指定天然記念物に指定されている。頂上には樹齢600年と言われるクスノキが聳え、諫早家の遠祖を祀った「家明明神」・「藤原明神」、国指定重要文化財の眼鏡橋、諫早市の木「ヒゼンマユミ」などがある。

5 飛び石



江戸時代、本明川には飛び石が3ヶ所設置され、諫早神社前には2ヶ所あり1つは参道、1つは多良海道に通じていた。現在、本明川には飛び石が十数ヶ所設置しており、その中に眼鏡橋の形をした飛び石が2ヶ所設置してある。

4 諫早神社



創建は神亀5（728）年といわれる。江戸時代は四面宮とい、「おしめさん」と呼ばれ親しまれていた神社。佐賀藩諫早領の総領守であり、諫早家の祈願所でもあった。境内のクスノキは県指定文化財に指定されている。

3 永昌代官所跡



永昌代官所は佐賀本藩家臣が代官を務め、諫早領内の14ヶ村の御藏入地（佐賀藩直轄村）からの年貢徴収や街道の整備・監視、御藏入地や諫早領の取締りなどをおこなっていた。また、道向かいには俵銭方という役所があり、他藩へ運ばれる生糸など50品目に対し、通行税などを徴収していた。代官所も俵銭方も道路の拡張で無くなった。

2 永昌宿



長崎街道25宿の1宿で新宿とも呼ばれていた。ここより矢上宿へ4里（約16km）、大村宿へ3里（約12km）、湯江宿へ3里（約12km）。鉄道の敷設や道路の拡張により面影は残っていない。

1 永昌追分



長崎街道と多良海道の分岐・合流地点。現在は別の場所に移設されている道標石には「此方諫早通湯江道」「此方長崎道」「此方大村道」と刻まれている。近くには人馬縦立所や駕籠立場があったが面影は残っていない。



諫早までのアクセス

- クルマ 福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→長崎自動車道→諫早IC 佐賀市内から約1時間10分／長崎自動車道→諫早IC
- 高速バス 福岡市内から約2時間20分／博多駅交通センター→諫早IC 佐賀市内から約1時間20分／高速基山→諫早IC
- JR 博多駅から約1時間30分／博多駅→諫早駅 佐賀駅から約1時間／佐賀駅→諫早駅

太良までのアクセス

- クルマ 福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→武雄北方IC→太良 長崎市内から約1時間／長崎IC→諫早IC→太良
- JR 博多駅から約1時間30分／博多駅→多良駅 長崎駅から約1時間10分／長崎駅→多良駅

お問い合わせ

諫早市（長崎県） 〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 (一社) 諫早観光物産コンベンション協会 Tel.0957-22-8325 https://www.isahaya-kankou.com

太良町（佐賀県） 〒849-1601 佐賀県藤津郡太良町大字伊福甲 3488-2 道の駅太良 観光案内所内／太良町観光協会 Tel.0954-67-0065 https://www.tara-kankou.jp/

多良海道ホームページ https://tarakaido.jp/

©令和3年3月発行
 ◎編集・発行／歴史の道観光・文化交流推進協議会
 ◎デザイン／(株) イースワクス
 ◎印刷／(株) インテックス

多良海道MAP

(永昌宿～湯江宿)

- 海道 (徒歩可) 🚶 (車一部不可)
- - - 海道 (徒歩可) 🚗 (両方通行不可)
- 迂回路 🚶 🚗 (両方通行可)

📱 スマートフォンで
多良海道と現在地が
確認できます

